

5 おわりに

抽象的な表現でご理解に苦しまれるかも知れませんが、結論を言えば、交通事故は、道路が悪いから、交通安全施設が不十分で車が多いからなどではないのです。

現状の道路を利用する者の安全マインドの文をきねて、まことに運転の安全意識と車の運転技術の向上が求められる現状を改めて認識するべきである。

広大生と交通諸問題

今年度第1号の「広大フォーラム」にもあるように、東広島市内での交通事故に、広島大学学生の関わるもののが年々増加している。今後学生数の増大にともない、この傾向にはますます拍車がかかると予想される。われわれ青年会議所は、広島大学学生が不幸な交通禍に巻き込まれないための方策を求めて、諸問題について調査やディスカッションを行った。

交通事故全般の原因は大きく分けて三つある。第1に道路事情、第2に交通事情、第3に通行者自身の問題である。

まず道路事情については、東広島市は道路整備が進んでいるとは決して言えない。特に、よく利用される県道馬木・八本松線、あるいは下見大池と蓮華寺橋間の市道などは道幅が狭いうえに曲がりくねっている。歩行者や自転車には大変危険な道であると言わざるを得ない。至急に整備が望まれるところである。

次に交通事情については、キャンパスの立地がJRの駅から遠いことを考慮しなければならない。駅からキャンパスまでは路線バスが通っているものの、時間あたりの便数が少なく、現在のところ最も快適な通学手段としては自動車（マイカー）に頼らざるを得ないのが実状である。これでは今後学生数とともに

在り方、持ち方で決まってしまうと言っても過言ではありません。

ただ今より、交通事故のない人生を過ごしていただくために、相手の立場を理解し、思いやりと譲り合う安全マインドを実践してください。

東広島市民 西田修司

に車も増え、交通事故も増加の一途をたどることは否めない。また、市内に在住する学生にとっては、市内の駐車場の少なさも切実な問題となり、場合によっては違法駐車などの違反件数が多くなることも予想される。

ディスカッションではこの点について、駅とキャンパスを直接結ぶシャトルバスを設ける案などが提出された。また別に、大学側が自動車乗入れの制限を行うべきだとの意見も出た。私大などではそういう例もある。側面的な意見として、宿舎の整備によって通学経路の短縮を図るという方策もあげられた。

第3の当事者自身の問題、つまり学生の安全運転マナーについては、ディスカッションにおいて多くの意見が出た。

やはり最も多いのはスピードの出し過ぎに対する苦情である。山陽自動車道志和インターと国道2号線志和南口の交差点との間の道路でのスピード違反検挙者に、学生の占める割合が増加中だということである。また、最近はキャンパス近くの道路でのスピード違反取締りが厳しくなったという。先ほども言ったように幅員が狭く曲がりくねった道も多いので、学生の方々にはスピードの出し過ぎには充分ご注意いただきたい。

若者には概してスピードへの憧れや社会的ルールへの反発心があり、それが交通違反や

事故の根本原因の一部をなしていることは否めない。そこで学生の皆さんに望むのは、一瞬の心の隙がその後の人生の負目となり、それが自分のみならず周囲の人々にも及ぶことを自覚し、学生として青年として理想や目標に向けて情熱を傾け、そのために日々の行動を自ら律していく姿勢を持っていただきたいということである。将来を嘱望される諸君が交通禍に巻き込まれるという事態に陥ることは社会の大きな損失でもあるのだ。

また、バイクや自転車の整備不良にも問題が多い。特に自転車には規制がなく、整備を怠りがちであるが、せめてブレーキだけはちゃんとしたものに乗っていただきたい。バ

ークの運転手の間で「事故の原因は車の故障」といふのが定説である。しかし、実際には車の故障による事故は決して多くない。運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることもある。運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることもある。

運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることもある。

運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることある。

イクについては、整備不良と言うよりも、市外からかなり長い距離を通学するのに50ccスクーターを使用するなど、故障の原因になるような乗り方のほうに問題があるようである。

いまや交通事故は、因果関係云々というより確率的な現象になってしまった。誰もが交通事故に巻き込まれる可能性をかかえながら生活せざるを得ない世の中である。しかし、だからこそなおさら交通安全に対する配慮を怠ってはならない。行政に求めるべき部分も多くあるが、まずわれわれが個人として出来ることから始めたい。

運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることある。

運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることある。

運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることある。

運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることある。

運転手の運転技術や運転態度、車の状態などによっても事故の原因は変わることある。

